オリンピックとＹＭＣＡ

勝俣　得男

「平和の祭典」として、第２３回冬季オリンピック平昌大会が２月２６日（月）に終わりました。この大会目的はオリンピック憲章（略）の通りですが、一歩間違えば「スポーツによる戦場」に陥ってしまいがちです。それは、大会中や終了後においての報道等で、国別メダル獲得数として競技意識を煽り、国家の威信を強調し過ぎることがある場合です。

オリンピックが「平和の祭典」であるのは、世界が平和であるからこそ実施できること。さらに、各スポーツ競技の終了後にも国家・民族・人種の違いを超えて互いの健闘を称えること。そして、各国民が選手を仲立ちとして世界との親睦・友愛を育み世界平和を希求していくことにあります。

次は、いよいよ日本国での東京オリンピック（２０２０年）です。ＹＭＣＡ活動にはこのオリンピック精神と多くの共通することがあります。日頃の私たちの活動が、オリンピックの「平和の祭典」と「世界平和」にも貢献していることを強く覚えます。

ピンクシャツデー

「ピンクシャツデー」は、2007年、カナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。
ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に着けて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。
このエピソードはSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに反対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の最終水曜日でした。それ以降、2月の最終水曜日に全国のＹＭＣＡではいじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。

御殿場ワイズの皆さんにもピンクシャツデーに向けて写真を撮っていただきました！

412-0024 静岡県御殿場市東山1052 (公財)日本ＹＭＣＡ同盟国際青少年センター 東山荘　URL http://www.ymcajapan.org/tozanso/
office YMCATOZANSO 1052 Higashiyama Gotemba Japan 412-0024 tel 0550-83-1133 fax 0550-83-1138 e-mail tozanso@ymcajapan.org

第一例会　第二木曜日 PM6:30　第二例会　第四木曜日 PM7:00
会　場　YMCA東山荘　tel 0550-83-1133　fax 0550-83-1138

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Gotemba

第３８２号　３月例会

国際会長主題	「ともに、光の中を歩もう」
アジア地域会長主題	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事主題	「広げよう　ワイズの仲間」
富士山部部長主題	「生き活き仲良し富士山倶楽部」
御殿場クラブ会長主題	「夢を育てて実現へ」
御殿場クラブ活動方針	1.東山荘を始めとする奉仕活動の充実
	2.例会の充実とそのための卓話・プログラムへの工夫
	3.富士山部、DBCを始めとする他クラブとの交流促進
	4.更なるEMC増強によるメンバーとクラブの強化

会　長	大和田　浩二
副会長	若林　久美子
書　記	芹澤　次子
会　計	鈴木　千代子
監　事	杉山　將己

２０１８年３月度例会プログラム

時間	2018年3月8日（木）18時30分
場所	ＹＭＣＡ東山荘
受付	鈴木千代子Y's・小野麻利子Y's
司会	杉山博江Y's

1	開会点鐘	大和田会長
2	開会の言葉	司会
3	ワイズソング	一同
4	ワイズの信条	司会
5	聖句について	堀口廣司Y's
6	会長挨拶	大和田会長
7	ゲスト・ビジター紹介	大和田会長
8	食前感謝	若林久美子Y's
9	卓話　(認知症について)	滝口加代子様
１０	誕生日・結婚記念日祝い	各自
１１	スマイル・ＹＭＣＡ基金	渡邉芳子Y's
１２	閉会の言葉	司会
１３	閉会点鐘	大和田会長

今月の聖句

あなたがたのうち２人が地上で心を１つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。２人または３人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。
（マタイによる福音書１８章）

他クラブ例会日一覧です。

例会日程、時間、場所の変更がありますので、例会参加の場合は金光ドライバー委員長へ連絡の上、ご出席下さい。

熱海クラブ　3月26日（月）KKRホテル熱海
沼津クラブ　3月13日（火）ﾆｭｰｳｪﾙｻﾝﾋﾟｱ沼津
伊東クラブ　3月12日（月）暖香園ボウル2F
三島クラブ　3月20日（火）レストランじゅん
下田クラブ　3月21日（水）下田東急ホテル
熱海ｸﾞﾛｰﾘｰクラブ 3月28日（水）KKRホテル熱海
御殿場クラブ　3月8日（木）ＹＭＣＡ東山荘
富士クラブ　3月14日（水）ホテルグランド富士
富士宮クラブ 3月27日（火）　パテオン

３月お誕生日おめでとう
１８日　岩田　睦　ﾊﾟｰﾄﾅｰ
２１日　山本　保男ﾊﾟｰﾄﾅｰ

３月ご結婚おめでとう
自己申告してください。

２月例会報告

在籍数	25名	メネット	0名	ｽﾏｲﾙ報告	23,800	BF活動切手	0pt
出席者	22名	コメット	0名	ｽﾏｲﾙ累計	216,800	現　金	0pt
ﾒｰｷｬｯﾌﾟ	1名	ゲスト	2名	YMCA基金	3,867	累　計	0pt
出席率	88%	ビジター	1名	YMCA累計	33,889		
修正出席率	100%	出席者合計	25名				

2月例会報告

杉山　博恵

梅の花の蕾が膨らみ、ちらほらと咲きだす頃となりましたが、皆さまのお宅の周辺はいかがですか？次は桜の開花が待たれます。２月の定例会は、立春とは名ばかりの春まだ浅き、そして、東山荘の周辺だけは雪景色の中、三島クラブの藤田Y's・藤田さん・岩田さんの３名のご参加をいただき開催されました。

まずは、会長点鐘から始まり、いつものようにいつものごとく食前感謝まで進みました。今月はタイムオブファースト（断食月）なのに食卓に並んだ ものは、現天皇陛下が絶賛された、ハヤシライスでした。（レシピを宮内庁？がお聞きになったとか）一緒に並んだサラダのドレッシングも最高の美味しさでした。さあ！皆さまお待ちかねの卓話です。今回は、私たちの為に日々身を粉にしてお仕事に励んでくださっている「御殿場市長　若林洋平氏」（当ワイズのメンバー）のお話です。

Ⅰ　ワイズの役割

１．ワイズは「真心が伝わる会」

２．その真心は青少年の成長に大切であり、欠かせないものである。

３．「人がすべきこと、当たり前のことを当たり前にする」これを縁の下で支えるのがＹＭＣＡである。

４．現在、世の中は情報が氾濫しているが、その情報に流されないで自分で見る目を養う必要がある。

↓そのためには

教育が必要である。

↓その中でも

学校ではできない教育、見えない部分の教育

→それをワイズが担っている

Ⅱ　御殿場の魅力をどう引き出すか？

１．御殿場は真の子育て日本一の町である。なぜなら子供条例があるからである。（マスコミは取り上げてくれない！）

２．交通指導員たち,消防団は子供達に声掛けをするなどして、いじめがないかを見守り、教育にも役立っている。

３．2019年７月25日に行われるロードレースは、御殿場市内を通り、ゴールは小山町に決定２万人のボランティアが必要になる見込み。

↓

このイベントは御殿場の広報に繋がる。行政は境を敷きたがるが、静岡・神奈川・山梨の連携をとり、御殿場線複線化の実現を目指す。

↓

現状で６つのホテルが建設予定であり、これは企業が企業を呼ぶものである。

４．御殿場のチャンスを広げるのは、農業である。

１時間近くの卓話に思わず聞き入ってしまい時間の経過を忘れさせてくれるとても興味深いお話をしていただき有難うございました。そして、 改めてワイズの役割を認識いたしましたので、会長の主題である「夢を育てて実現へ」を具現させることを考えましょう。

会は順調に進み、会長による閉会の言葉、閉会点鐘により会は閉じられました。

次期クラブ会長･部役員研修会に参加して

若林　久美子

３月３日、４日に次期クラブ会長・部役員研修会があり、次期富士山部地域奉仕事業主査の前原ワイズと、次期会長若林ワイズで参加して来ました。前原ワイズと一緒でしたのでとても心強く、前原ワイズが皆さんの輪の中に私を入れてくださり、とても助かりました！

研修会は東日本区全体の研修会で、北海道や北東部、東京からも大勢集まり、東日本区や国際協会・アジア太平洋地域の現況についてお話を聞くことができました。また、詳しい資料も頂けて、クラブ運営に関する事務手続きのポイントとして、様々な報告事項や時期、会計のことなどなど、こんな私にもわかりやすく、とても為になる研修でした。このような研修があれば、安心してどなたでも会長になれちゃうと思いました！お勉強だけでなく、夜には美味しい長田ワイズのお料理が沢山並んで、皆さんお酒を飲みながら、一次会、二次会ととても楽しく交流を深めていられました。研修会を準備して下さった皆様に心から感謝いたします。

御殿場ワイズから東日本区へ

1月まで井田ワイズに御苦労いただいていた、ワイズのメンバーから集めたプルリング（プルタブ）・使用済み切手は、東山荘に集められ、東日本区に送ります。

今月ご協力いただいたメンバーは若林久さん、前原さん、井田さん

ご協力ありがとうございました！

心のケアーへのお手伝い

大和田　浩二

御殿場ワイズの2月CS（コミュニティーサービス）活動として2月16日(金)に行われた活動を紹介します。参加者は、井田、鈴木、前原、芹澤、山本、野木ﾒﾈｯﾄ、稲葉、大和田の8名。

昨年までは、南相馬市からの子どもたちを迎えての「ニコニコキャンプ」へのお手伝いでした。今年は、東日本大震災の東北の現地での被災者に向けた活動を施設や団体で行い続けてきた方々が対象。長い間に心に様々な負担を感じている現場のスタッフを東山荘に招いて行う、「支援者のための心のケアープログラム」のサポートです。

東山荘玄関前で9名の参加者の方々や専門家スタッフと顔合わせをし、2～3人ずつになり秩父宮記念公園へなごやかに話しながらのお散歩同行と、公園内でのボランティアガイドからの詳しい説明や喫茶などのゆったりした時間を持つことができました。秩父宮記念公園からあいにくの曇りで、富士山が見えなかった事が残念でした。

最初は表情の硬かった9名の方々も次第に柔らかな顔になり、その後のプログラムもスムーズだったと今回の責任担当者である光永さんからも感謝されました。

もう、人々から忘れられようとしている東日本大震災が、今でも多くの人々に影を落としていること、御殿場の地で専門的な知識や技術もなく何もできないと思いがちな私たちにも、地味ではあるが確実に心のケアーに関わることができることを感じたひとときでした。